

身近な自然保護に関するアンケートについての調査集計結果

調査期間
回答率

H26.6.13 ~ H26.6.27
89.0% 回答者数 226人

アンケートの趣旨

本県では、県内の798種に及ぶ希少野生生物が直面している厳しい現状を明らかにした「香川県レッドデータブック」を平成16年にとりまとめました。この中で、県内の野生生物のうち、実に58%が絶滅の危機に瀕しているとされています。

そこで、希少野生生物を保護し絶滅を防止することにより、生物の多様性が保全された豊かな自然環境を保全していこうと平成17年に「香川県希少野生生物の保護に関する条例」を制定しました。これに基づき、16種の指定希少野生生物を指定したほか、保護区を2箇所、保護事業計画を2種について策定し、その保護に努めています。

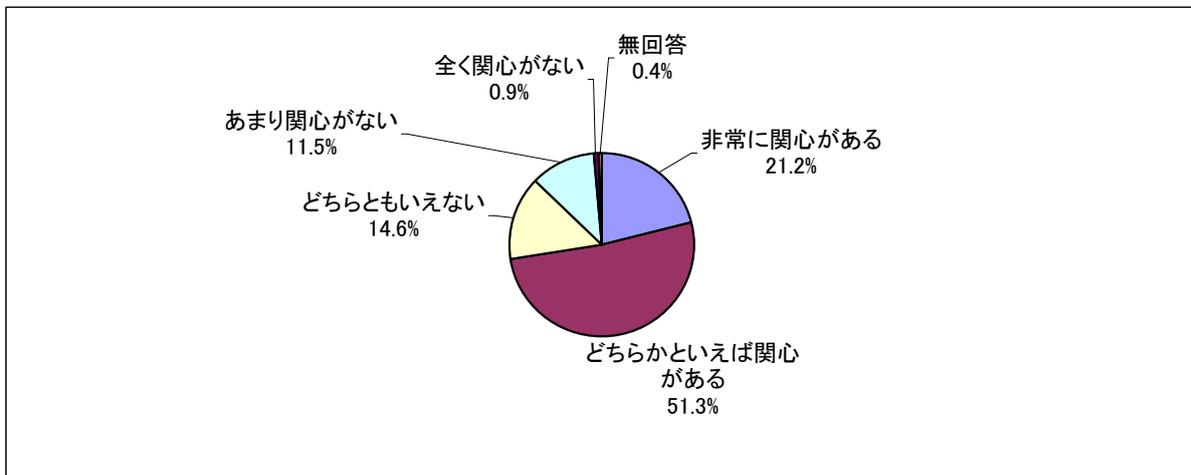
しかし、これらの希少な野生生物も、私たちの身近な自然環境が保全されなければ、将来にわたって保全していくことは困難です。

そのため、今年度、身近な自然環境を守るために、県や企業、各種団体、県民の方々と協働して取り組む方策について検討をしています。

このアンケート調査は、身近な自然環境や生き物を保護していくために、みんなで一緒に、すぐにでも取り組める活動はどのようなものかについて、ご意見をいただくとともに、その結果を今後の県の保護対策に活用することを目的として実施しますので、ご協力をお願いします。

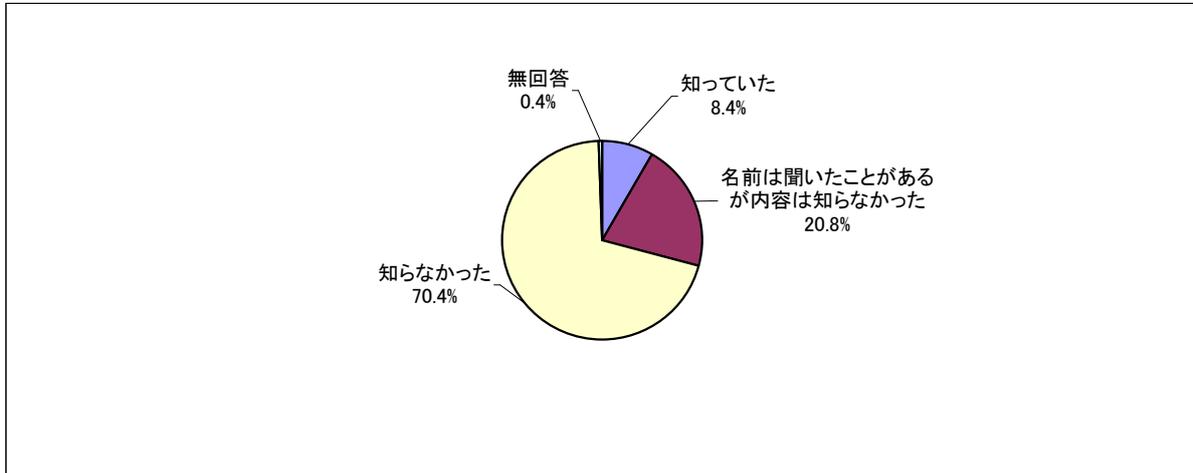
〔問1〕 あなたは、身近な自然や生き物を保護することにどの程度関心がありますか。1個だけ選択してください。

選択肢	回答者数	構成比
非常に関心がある	48	21.2%
どちらかといえば関心がある	116	51.3%
どちらともいえない	33	14.6%
あまり関心がない	26	11.5%
全く関心がない	2	0.9%
無回答	1	0.4%
計	226	100.0%



〔問2〕 あなたは、香川県レッドデータブックのことを知っていましたか。1個だけ選択してください。

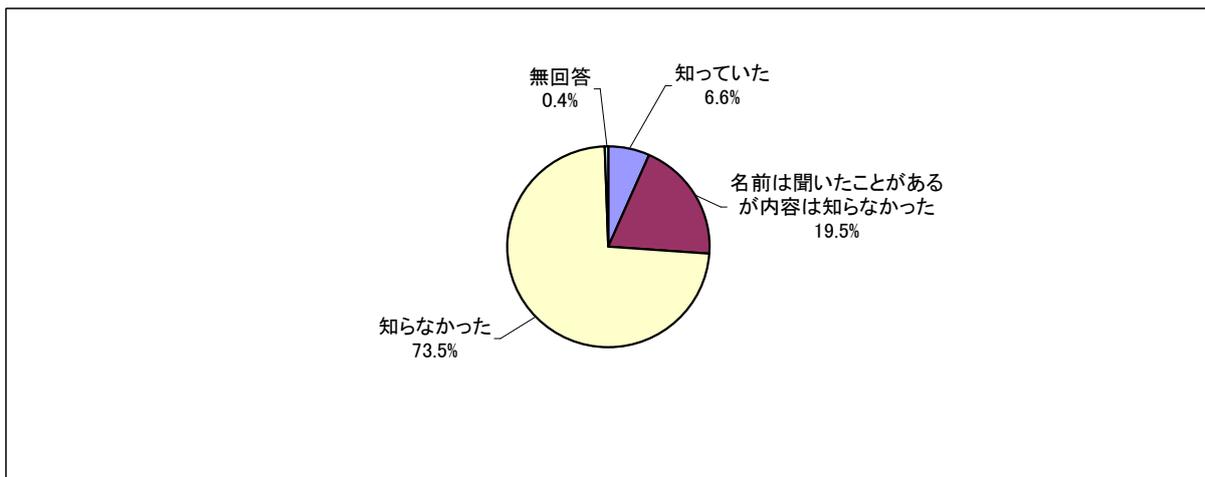
選択肢	回答者数	構成比
知っていた	19	8.4%
名前は聞いたことがあるが内容は知らなかった	47	20.8%
知らなかった	159	70.4%
無回答	1	0.4%
計	226	100.0%



※ レッドデータブックとは絶滅のおそれのある野生生物の情報をとりまとめた本のことです。本県では平成16年3月に発行し、県内の798種に及ぶ希少野生生物が直面している厳しい現状を明らかにしました。県内の書店でも販売されています。

〔問3〕 あなたは、「香川県希少野生生物の保護に関する条例」について知っていましたか。1個だけ選択してください。

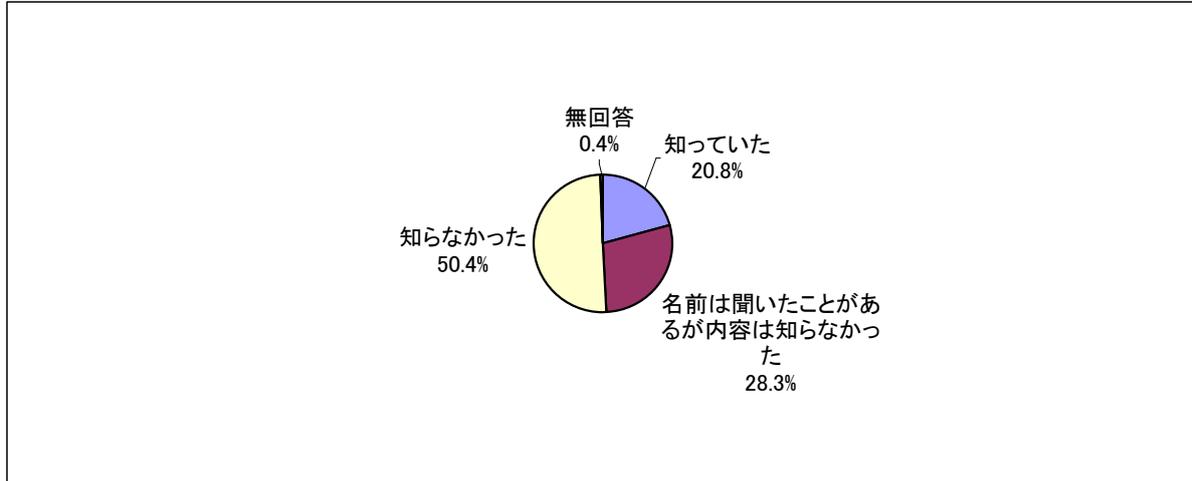
選択肢	回答者数	構成比
知っていた	15	6.6%
名前は聞いたことがあるが内容は知らなかった	44	19.5%
知らなかった	166	73.5%
無回答	1	0.4%
計	226	100.0%



※ 香川県希少野生生物の保護に関する条例とは、県内の希少野生生物の保護を図り、絶滅を防止することにより生物の多様性が保全された豊かな自然環境がもたらす恵みを広く県民が享受できるようにすることを目的に、平成17年7月に制定されました。指定希少野生生物に指定されると、その採取等が原則禁止になります。

〔問4〕 あなたは、「生物多様性」について知っていましたか。1個だけ選択してください。

選択肢	回答者数	構成比
知っていた	47	20.8%
名前は聞いたことがあるが内容は知らなかった	64	28.3%
知らなかった	114	50.4%
無回答	1	0.4%
計	226	100.0%

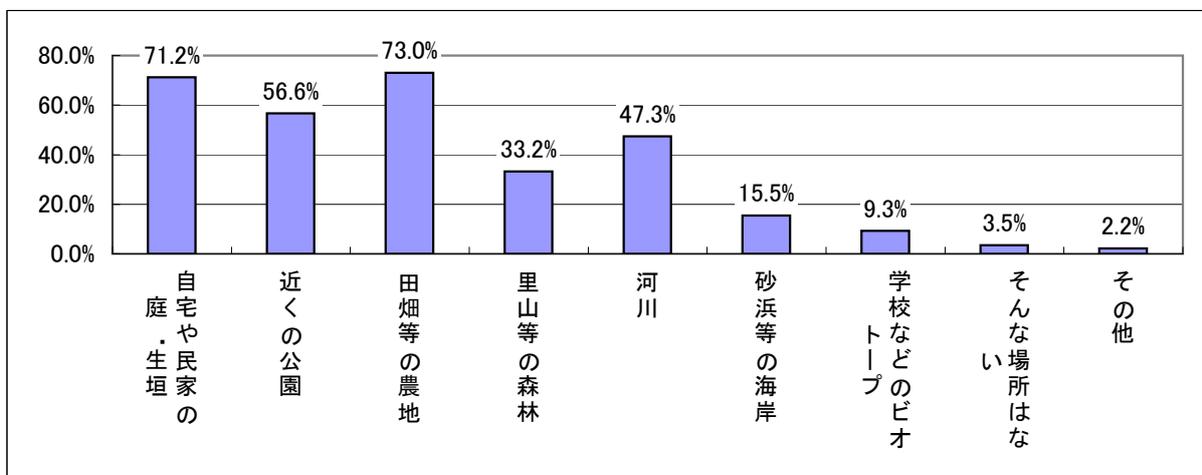


※生物多様性とは、生物多様性基本法では「様々な生態系が存在すること並びに生物の種間及び種内に様々な差異が存在すること」と定義されています。すなわち、様々な動植物が将来にわたって共存できる状態を意味しています。

〔問5〕 あなたの住んでいる地域で、あなたが身近にふれあえる自然環境はどのようなものがありますか。該当するもの全てを選択してください。

回答者数: 226人

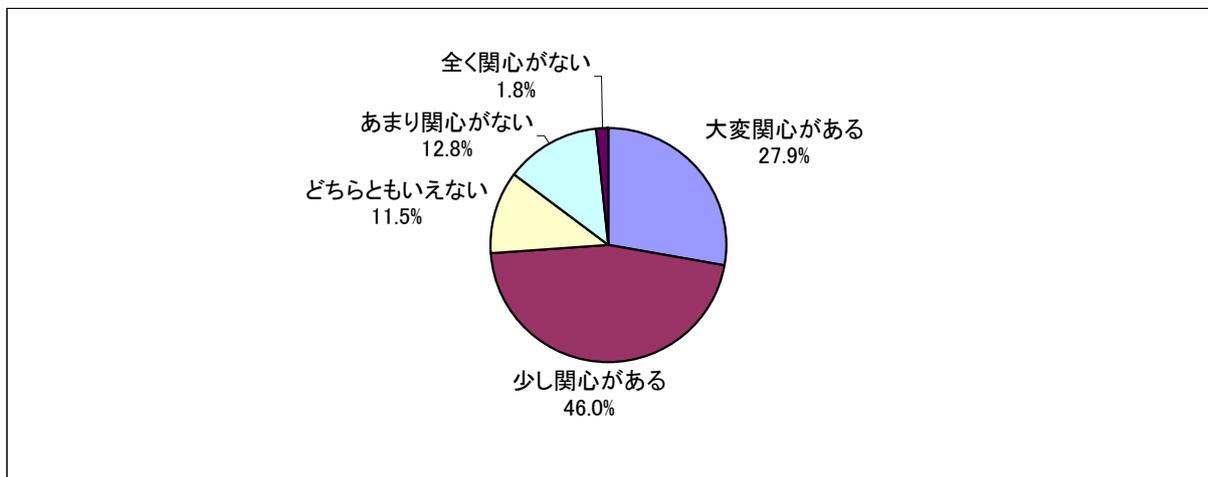
選択肢	回答者数	構成比
自宅や民家の庭・生垣	161	71.2%
近くの公園	128	56.6%
田畑等の農地	165	73.0%
里山等の森林	75	33.2%
河川	107	47.3%
砂浜等の海岸	35	15.5%
学校などのビオトープ	21	9.3%
そんな場所はない	8	3.5%
その他	5	2.2%



※ビオトープとは、「生き物のすむ空間」を意味する言葉で、むかしからその土地にいた野生生物が暮らし、自然の生態系が守られている場所のことを言います。日本では学校を中心にビオトープが作られています。

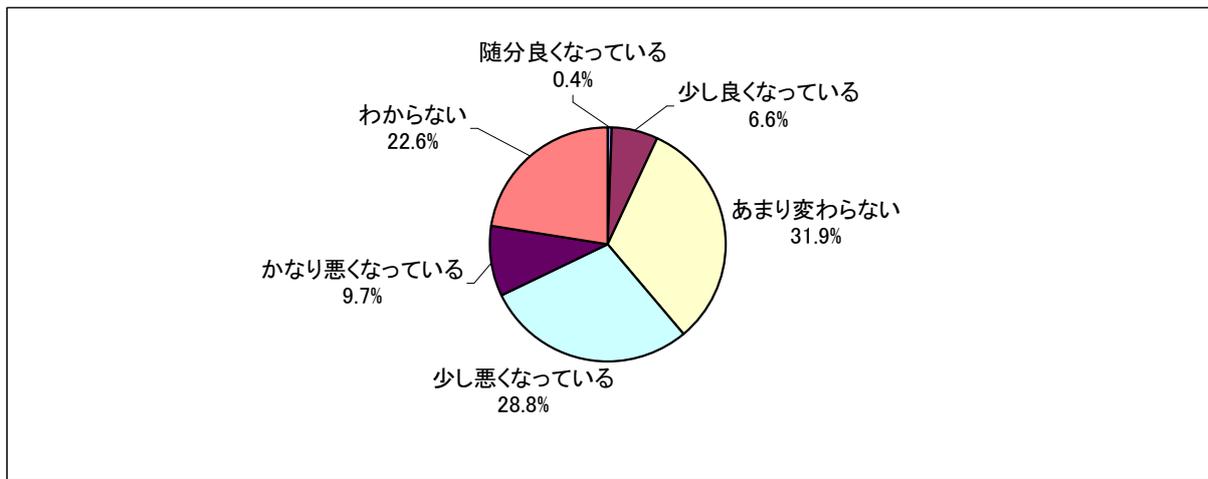
〔問6〕 あなたは、あなたの住んでいる地域に、どのような生き物がいるかについて関心がありますか。1個だけ選択してください。

選択肢	回答者数	構成比
大変関心がある	63	27.9%
少し関心がある	104	46.0%
どちらともいえない	26	11.5%
あまり関心がない	29	12.8%
全く関心がない	4	1.8%
計	226	100.0%



〔問7〕 あなたの住んでいる地域の自然環境や生き物の状況は、以前に比べて(この10年間)どのような状況ですか。1個だけ選択してください。なお、問5で⑧そんな場所はないと答えた方は全体的な自然環境についてお答えください。

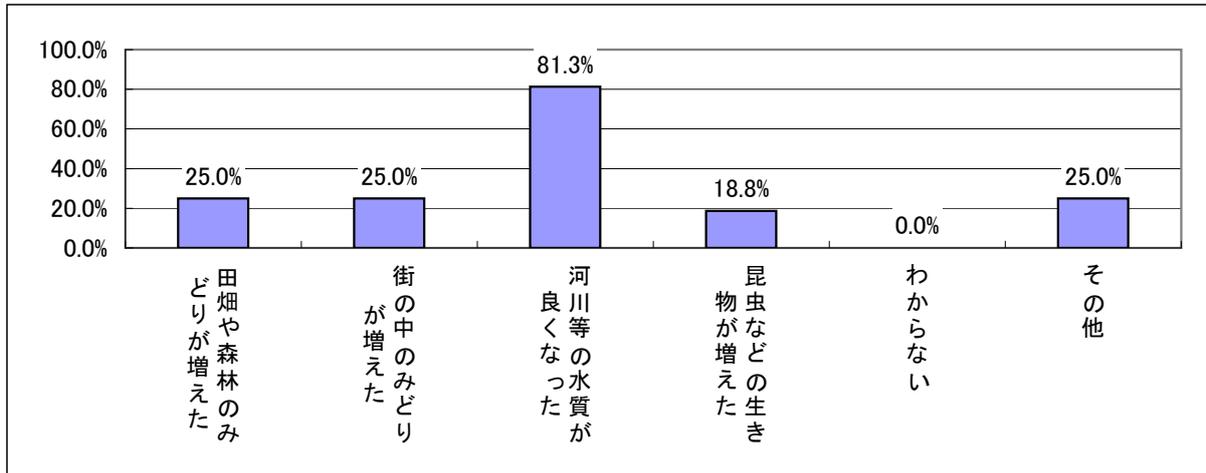
選択肢	回答者数	構成比
随分良くなっている	1	0.4%
少し良くなっている	15	6.6%
あまり変わらない	72	31.9%
少し悪くなっている	65	28.8%
かなり悪くなっている	22	9.7%
わからない	51	22.6%
計	226	100.0%



〔問8〕問7で①随分良くなっている又は②少し良くなっていると答えた方にお聞きします。あなたの住んでいる地域の自然環境や生き物の状況が良くなったのは、どのようなことですか。該当するもの全てを選択してください。

回答者数: 16人

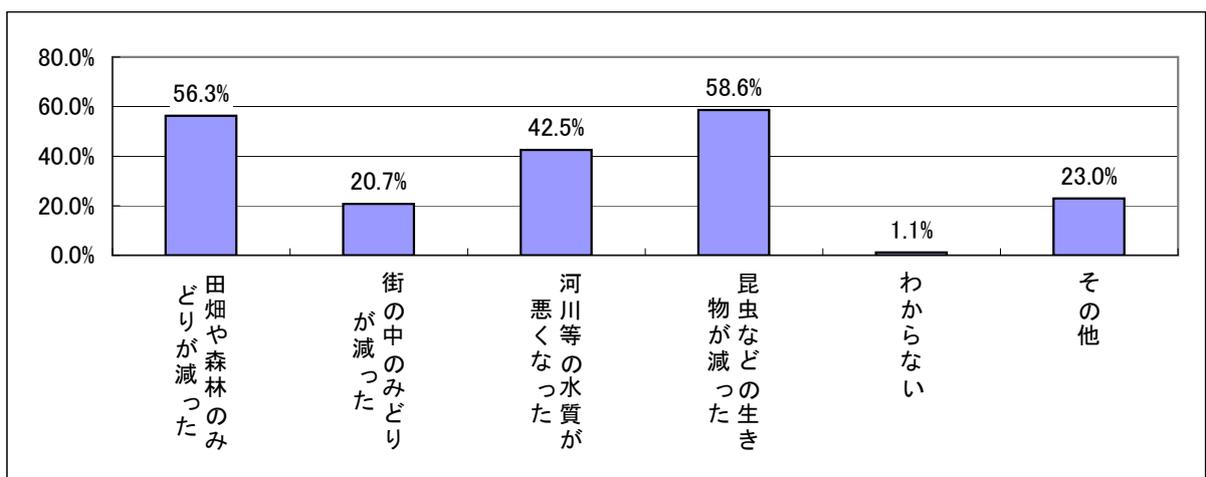
選択肢	回答者数	構成比
田畑や森林のみどりが増えた	4	25.0%
街の中のみどりが増えた	4	25.0%
河川等の水質が良くなった	13	81.3%
昆虫などの生き物が増えた	3	18.8%
わからない	0	0.0%
その他	4	25.0%



〔問9〕問7で④少し悪くなっている又は⑤かなり悪くなっていると答えた方にお聞きします。あなたの住んでいる地域の自然環境や生き物の状況が悪くなったのは、どのようなことですか。該当するもの全てを選択してください。

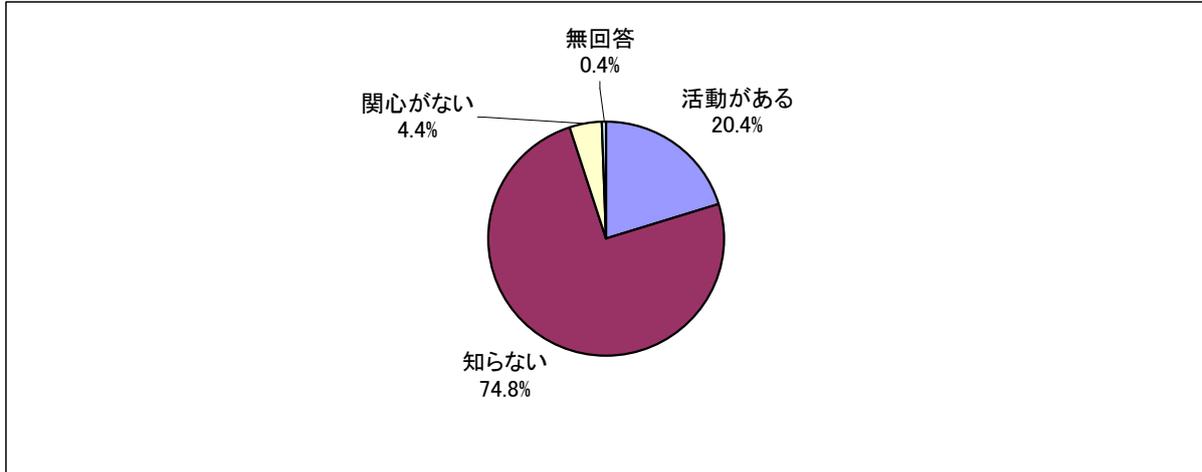
回答者数: 87人

選択肢	回答者数	構成比
田畑や森林のみどりが減った	49	56.3%
街の中のみどりが減った	18	20.7%
河川等の水質が悪くなった	37	42.5%
昆虫などの生き物が減った	51	58.6%
わからない	1	1.1%
その他	20	23.0%



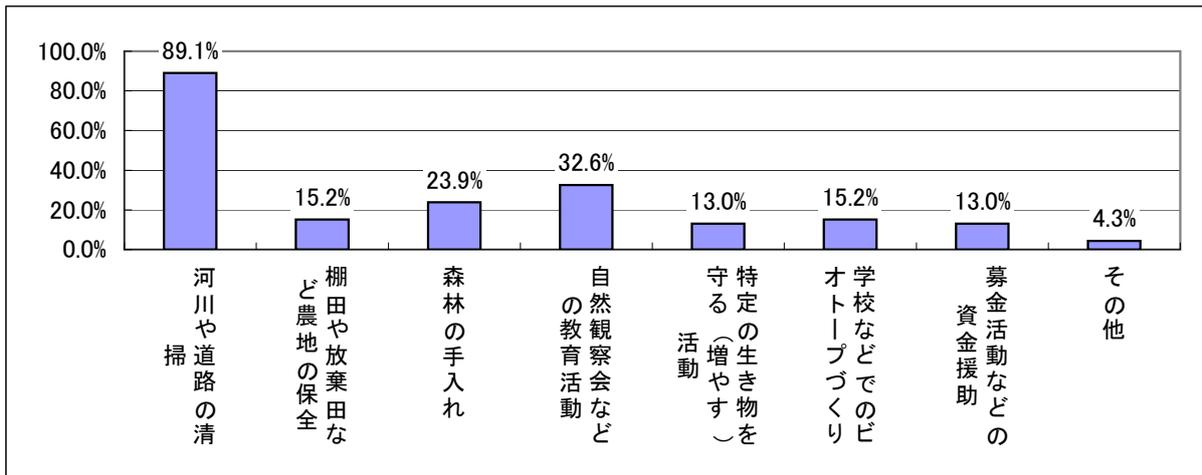
〔問12〕 あなたの住んでいる地域で、身近な自然環境や生き物を守る活動が行われていますか。1個だけ選択してください。

選択肢	回答者数	構成比
活動がある	46	20.4%
知らない	169	74.8%
関心がない	10	4.4%
無回答	1	0.4%
計	226	100.0%



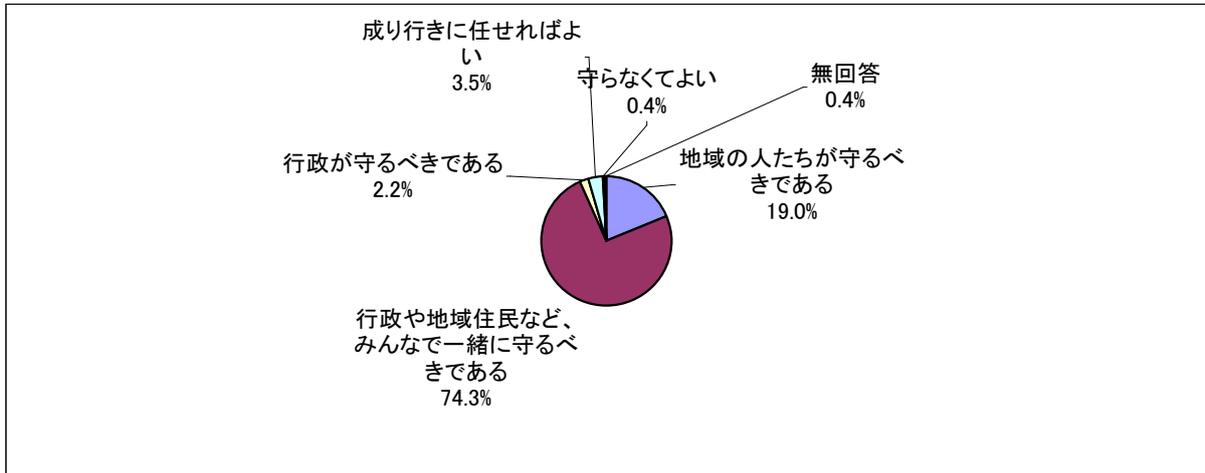
〔問12-2〕 問12で①活動があると答えた方にお聞きします。その活動はどのようなものですか。該当するもの全てを選択してください。

選択肢	回答者数	構成比
河川や道路の清掃	41	89.1%
棚田や放棄田など農地の保全	7	15.2%
森林の手入れ	11	23.9%
自然観察会などの教育活動	15	32.6%
特定の生き物を守る(増やす)活動	6	13.0%
学校などでのビオトープづくり	7	15.2%
募金活動などの資金援助	6	13.0%
その他	2	4.3%



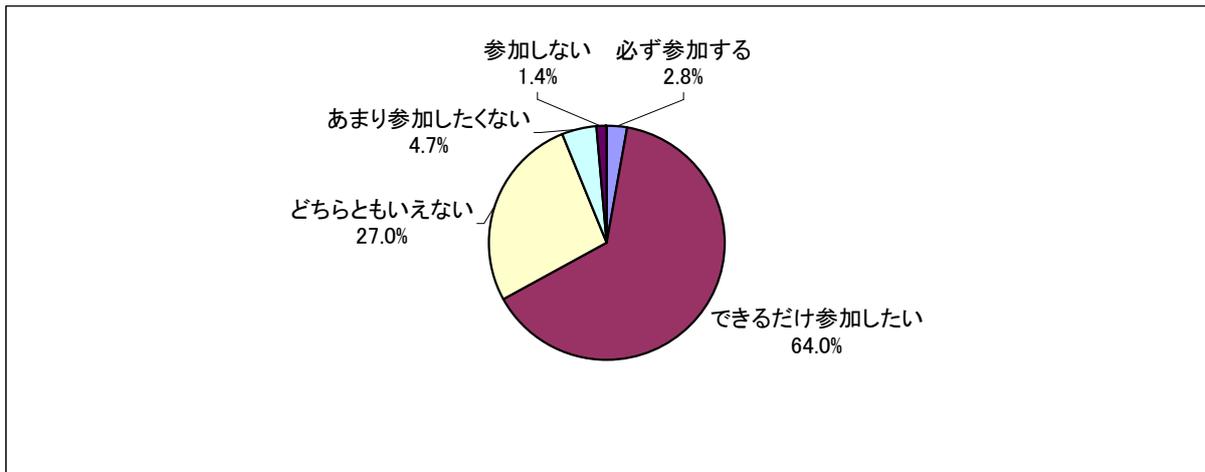
〔問13〕 全員の方にお聞きします。あなたの住んでいる地域の身近な自然環境や野生生物を守っていくことについて、誰が守るべきだと思いますか。1個だけ選択してください。

選択肢	回答者数	構成比
地域の人たちが守るべきである	43	19.0%
行政や地域住民など、みんなで一緒に守るべきである	168	74.3%
行政が守るべきである	5	2.2%
成り行きに任せればよい	8	3.5%
守らなくてよい	1	0.4%
無回答	1	0.4%
計	226	100.0%



〔問13-2〕 問13で①地域の人たちが守るべきである又は②行政や地域住民など、みんなで一緒に守るべきであると答えた方にお聞きします。あなたの住んでいる地域で身近な自然や野生生物を守っていく活動があれば参加しますか。1個だけ選択してください。

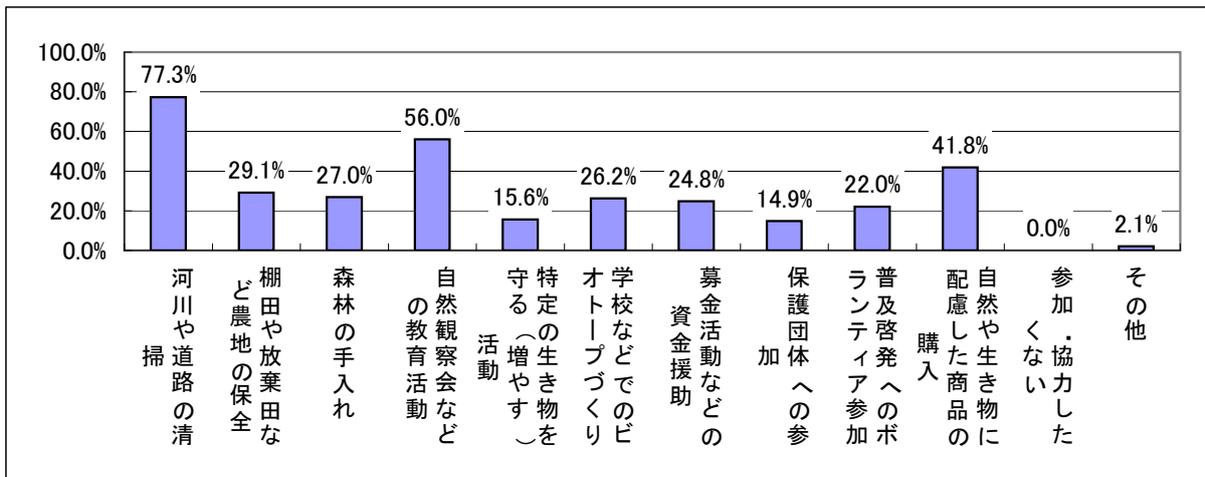
回答者数: 211人	回答者数	構成比
必ず参加する	6	2.8%
できるだけ参加したい	135	64.0%
どちらともいえない	57	27.0%
あまり参加したくない	10	4.7%
参加しない	3	1.4%
計	211	100.0%



〔問13-3〕 問13-2で①必ず参加する又は②できるだけ参加したいと答えた方にお聞きします。あなたが参加したい、もしくは協力したい活動は、どのようなものですか。該当するもの全てを選択してください。

回答者数: 141人

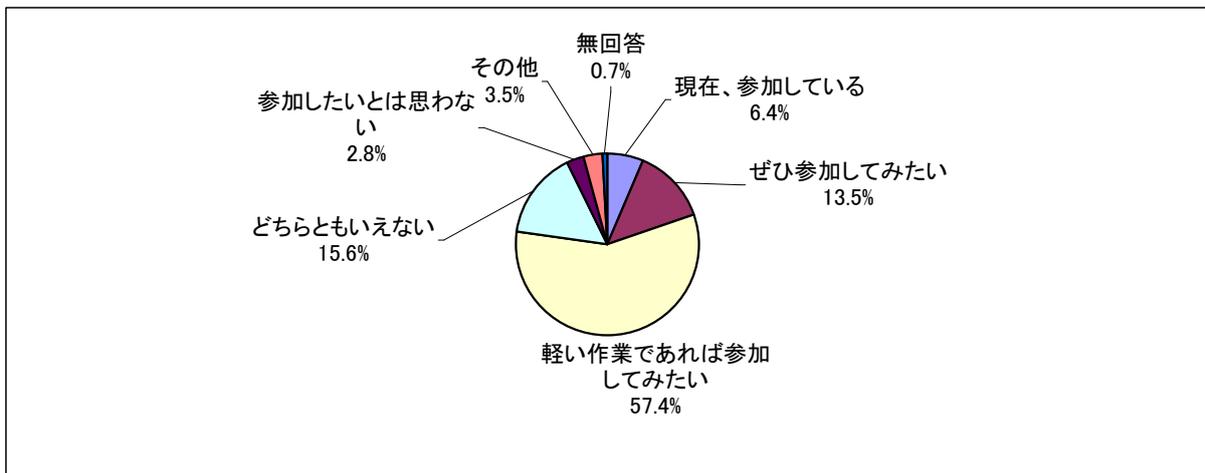
選択肢	回答者数	構成比
河川や道路の清掃	109	77.3%
棚田や放棄田など農地の保全	41	29.1%
森林の手入れ	38	27.0%
自然観察会などの教育活動	79	56.0%
特定の生き物を守る(増やす)活動	22	15.6%
学校などでのビオトープづくり	37	26.2%
募金活動などの資金援助	35	24.8%
保護団体への参加	21	14.9%
普及啓発へのボランティア参加	31	22.0%
自然や生き物に配慮した商品の購入	59	41.8%
参加・協力したくない	0	0.0%
その他	3	2.1%



〔問13-4〕 問13-2で①必ず参加する又は②できるだけ参加したいと答えた方にお聞きします。あなたは、身近な自然環境や生き物を守っていくために、管理放棄された田畑やため池、雑木林等での草刈り作業や森の手入れなどにボランティアで参加することができますか。1個だけ選択してください。

回答者数: 141人

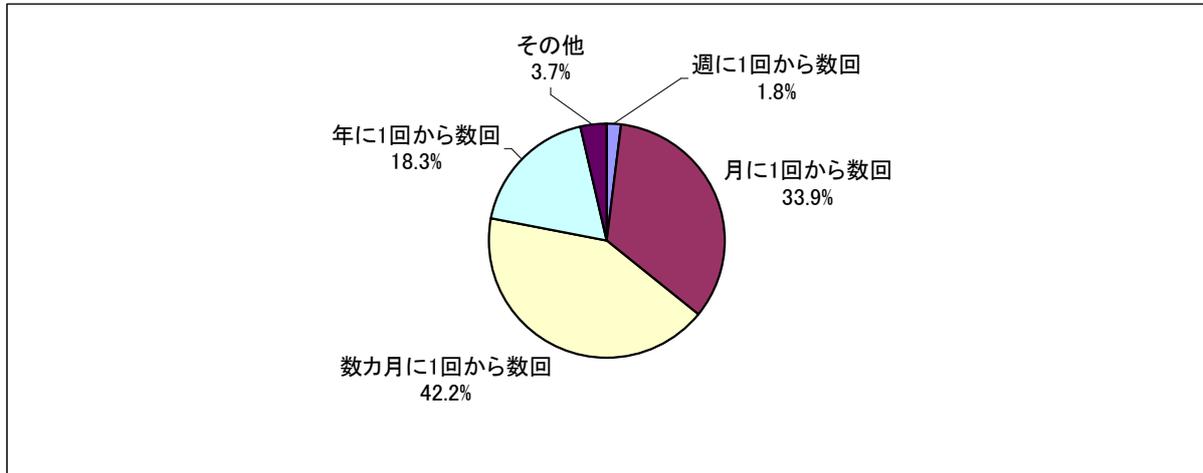
選択肢	回答者数	構成比
現在、参加している	9	6.4%
ぜひ参加してみたい	19	13.5%
軽い作業であれば参加してみたい	81	57.4%
どちらともいえない	22	15.6%
参加したいとは思わない	4	2.8%
その他	5	3.5%
無回答	1	0.7%
計	141	100.0%



〔問13-5〕 問13-4で①現在、参加している、②ぜひ参加してみたい、又は③軽い作業であれば参加してみたいと答えた方にお聞きします。作業に参加する回数ほどのくらいですか。1個だけ選択してください。

回答者数: 109人

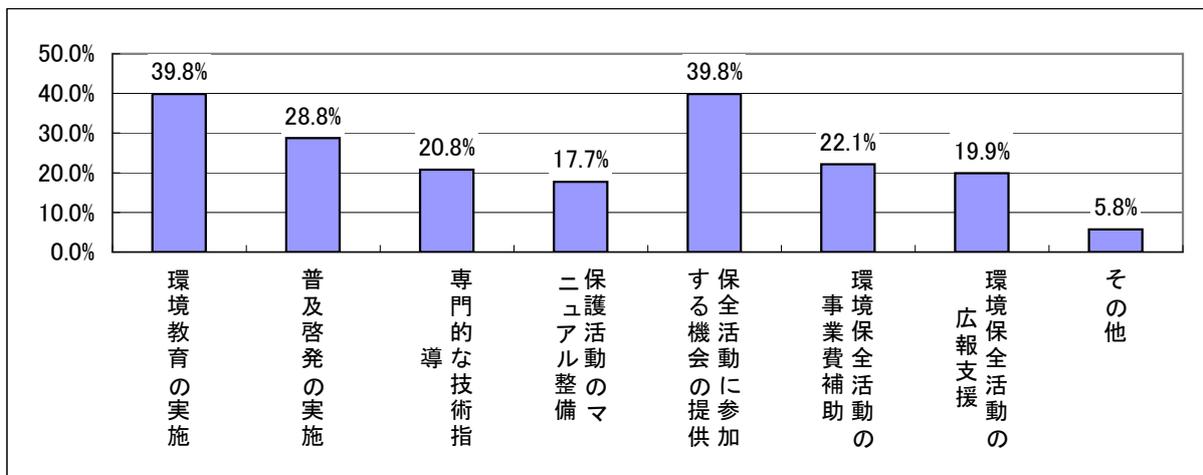
選択肢	回答者数	構成比
週に1回から数回	2	1.8%
月に1回から数回	37	33.9%
数カ月に1回から数回	46	42.2%
年に1回から数回	20	18.3%
その他	4	3.7%
計	109	100.0%



〔問14〕 全員の方にお聞きします。あなたの住んでいる地域で、身近な自然環境や生き物を守っていくには、行政はどのような役割を發揮すべきだと思いますか。重要だと思うものを2個だけ選んでください。

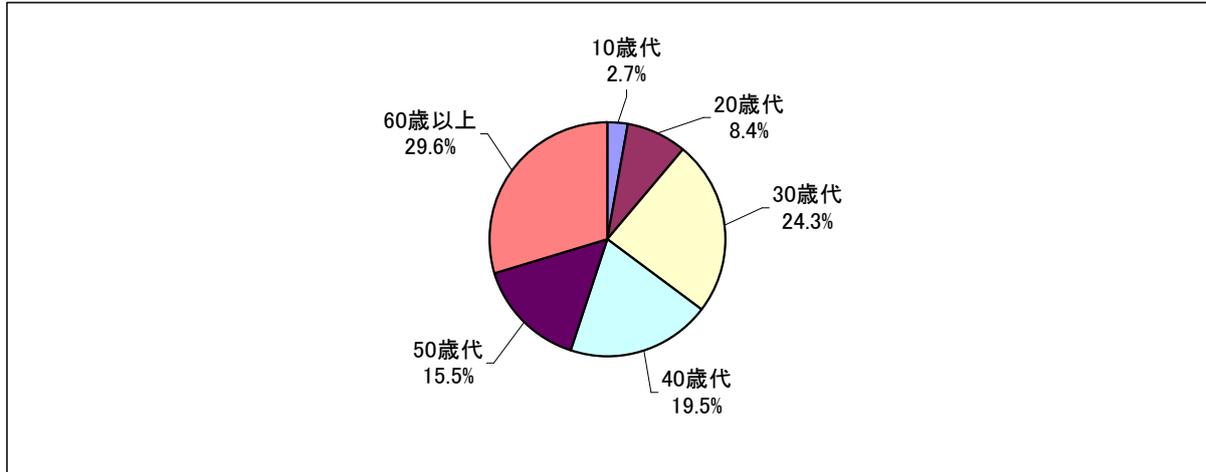
回答者数: 226人

選択肢	回答者数	構成比
環境教育の実施	90	39.8%
普及啓発の実施	65	28.8%
専門的な技術指導	47	20.8%
保護活動のマニュアル整備	40	17.7%
保全活動に参加する機会の提供	90	39.8%
環境保全活動の事業費補助	50	22.1%
環境保全活動の広報支援	45	19.9%
その他	13	5.8%



〔問15〕 あなたについて教えてください。① 年齢

選択肢	回答者数	構成比
10歳代	6	2.7%
20歳代	19	8.4%
30歳代	55	24.3%
40歳代	44	19.5%
50歳代	35	15.5%
60歳以上	67	29.6%
計	226	100.0%



〔問15〕 あなたについて教えてください。② 性別

選択肢	回答者数	構成比
男性	76	33.6%
女性	150	66.4%
計	226	100.0%

